

2011年10月13日  
NTT アイティ株式会社

## NTT グループが進める「ひかりサイネージ」のラインナップを強化 “マルチディスプレイ”Pro SH シリーズと“蓄電サイネージ”Pro P-B モデルを販売開始

NTT アイティ株式会社（本社：横浜市中区、代表取締役社長：岡田和比古）は、NTT グループが進めるデジタルサイネージソリューション「ひかりサイネージ」\*に、新たなラインナップとして、

(1) **Pro SH シリーズ**：マルチディスプレイ・レイアウトフリーモデル

(2) **Pro P-B モデル**：災害などの停電時にも動作する蓄電サイネージ

を追加し、10月14日(金)より販売を開始します。

この新ラインナップ追加により、マルチディスプレイを使った大規模システムの構築や、電源の取りにくいイベントスペースなどでのサイネージの提供、さらに災害時等の停電時にも運用可能なシステムの構築が可能となりました。

※「ひかりサイネージ」は以下の3タイプのソリューションを提供しています。

- ①「ひかりサイネージ Pro」：多機能でカスタマイズが可能なシステム販売型ソリューション
- ②「ひかりサイネージ Basic」：サーバ管理が不要で手軽に利用できる SaaS 型ソリューション
- ③「ひかりサイネージ Lite」：シンプルな端末で低価格、気軽に利用可能な SaaS 型ソリューション

### ■新ラインナップの概要

#### (1) “マルチディスプレイ” ひかりサイネージ Pro SH シリーズの概要

デジタルサイネージの市場拡大と普及に伴い、さまざまな場所でもよりインパクトと効果のあるサイネージが求められています。こうした市場のニーズに応えるべく、多機能でカスタマイズが可能なシステム販売型ソリューション「ひかりサイネージ Pro シリーズ」に、マルチディスプレイ対応製品 Pro SH シリーズを追加いたします。

「ひかりサイネージ Pro SH シリーズ」（シャープ株式会社製）は、使いやすい操作性を追求したやさしいインタフェース、マルチディスプレイを効率的に扱えるレイアウトフリー枠、ディスプレイ監視機能/臨時配信/予約配信など、番組の作成・配信・表示をトータルにサポートしたデジタルサイネージ配信システムです。小中規模の LAN 環境に対応した SH-P01 と、大規模システムや複雑なスケジューリングに対応した SH-P02 の二つのモデルで構成されます。

##### ① ひかりサイネージ Pro SH-P01 モデル

ネットワーク上に設置した「番組配信サーバ」から、店頭や各フロアなどに設置したディスプレイに対して、静止画や動画などの情報コンテンツ番組とスケジュール情報の配信、表示ができます。表示用端末を最大 100 台までをサポートします。

##### ② ひかりサイネージ Pro SH-P02 モデル

表示用端末を最大 1,000 台までサポートできます。SH-P01 に「表示スケジュールの管理」「差分による番組配信」「PULL 型配信※」の機能が追加されたものです。

※表示用端末からサーバへ番組スケジュール配信を要求するため、表示用端末にグローバル IP アドレスを付与する必要がありません。インターネットを利用した大規模配信に適しています。

## (2) “蓄電サイネージ” ひかりサイネージ Pro P-B モデルの概要

蓄電用リチウムイオン電池システムを備えた“蓄電サイネージ” ひかりサイネージ Pro P-B モデル (ピーディーシー株式会社製)は、夜間の電力低需要時に蓄電する「ピークシフト」により、災害停電時には、施設内に設置した照明・非常用コンセントへの電力供給を可能にしました。

電力の効率的な運用ができ、災害時にも強いデジタルサイネージとして、公共施設を中心に、商業施設や店舗、オフィスなど幅広い分野にご利用いただけます。また電源の取りにくいイベントスペースなどでも活用可能です。

ひかりサイネージ Pro P-B モデルの主な特徴は以下のとおりです。蓄電とディスプレイの詳細仕様は添付の参考資料を参照ください。

### ① 「10 時間自立放映」が可能。

1.6kWh タイプ満充電時の試算です。照明・非常用コンセントなどへの電力供給をご利用の場合この時間は短くなります。

例：携帯電話用充電器 (5W 相当)、ノート PC (50W 相当) を併用した場合、自立放映時間は約 7 時間となります。

### ② 電力マネージメントシステムを採用。「夜貯めて昼使う」ことで電気料金がお得。

別途、電気料金契約 (夜間プラン) が必要です。また、夜間にバッテリー充電を行い、昼間はバッテリーからの電源供給としてご利用いただく必要があります。

### ③ 使用する 37 インチ液晶ディスプレイは消費電力がわずか 117 W。

### ④ AC 利用から蓄電池利用への切り替えの際に接続機器に影響を与えません。(瞬断対策済)

### ⑤ 非常時の TV 放映が可能

## ■ 価格

### (1) ひかりサイネージ Pro SH シリーズ

お客様の要望をお伺いした上での個別見積りとなります。

### (2) ひかりサイネージ Pro P-B モデル

お客様の要望をお伺いした上での個別見積りとなります。

(参考) 基本構成価格：300 万円～

3.2kWh タイプ蓄電ユニット、37 インチディスプレイ、STB、ディスプレイスタンド、コンテンツ作成ソフト内蔵ノート PC、オリジナルコンテンツ 5 種のオールインワンパッケージ。

## ■ 販売開始時期

販売開始：2011 年 10 月 14 日(金)より

※Pro P-B モデルは受注生産品となりますので、納期はお問い合わせ願います。

(参考1) 新ラインナップの外観図



(参考2-1) Pro P-B モデル 蓄電スペック

蓄電容量	3.2kWh タイプ	1.6kWh タイプ
定格出力電力	700VA	
入力 (系統電源)	AC100V	
充電時間	約 12 時間 (満充電)	
使用環境条件	[使用場所] 室内使用 [室温] 5~40℃ [湿度] 45~85% (ただし結露なきこと)	
切替時間	20ms 以内 ※本機は UPS (無停電電源装置) ではありません。	
外形寸法	W560mm×D600mm×H630mm ※突起物を除く。	
質量	111kg	92kg

(参考2-2) Pro P-B モデル ディスプレイ 基本スペック

項目	仕様
型 (アスペクト比)	37v 型 (16 : 9)
本体寸法 幅×高さ×奥行 (ディスプレイ本体のみ)	87.4×53.6×3.3 cm (下部最大奥行 7.2 cm)
画面寸法 幅×高さ×対角	81.9×46.1×94.0 cm
画素数 (水平×垂直)	1920×1080
ディスプレイのみの質量	約 12.5 kg
定格消費電力<待機時消費電力>	117 W<約 0.1W>
年間消費電力量	101 kWh/年

受信放送	地上デジタル放送（CATV パススルー対応） 全帯域（VHF/MID/SHB/UHF）		○
	BS デジタル放送		○
	110 度 CS デジタル放送		○
	CATV 受信		○
映像	パネル		LED ブラックパネル（IPSα パネル） LED エッジ型バックライト搭載
	動画性能	動画解像度	1080 本
		倍速	クリアフォーカス 4 倍速
	ダイナミックコントラスト		500 万 : 1 相当
音声	サラウンド	バーチャル 3D サラウンドシステム II	
	スピーカーサイズ	フルレンジ 3.5 cm×14 cm 2 個	
	実用最大出力(JEITA)	総合 20 W（10W+10W）	
映像/音声 入力端子	ビデオ入力	2（後面）	
	D 端子(種類×個)	D4×1（後面）	
	HDMI 端子（1080p 入力対応） （ARC 対応）	1/2（側面/後面） *ARC 対応は後面の HDMI 1 のみ。	
入出力端子	音声出力	ビデオ入力 2 と兼用	
	光デジタル音声出力端子	1（後面）	
	LAN 端子（10BASE-T/100BASE-TX）	1（後面）	
	パソコン入力（RGB）	1<ミニ D-sub 15P>（後面）	
SD カードスロット		○（側面）	